

第1節 金融リテラシー調査

J-FLEC、日本証券業協会による内外の金融リテラシー調査の推移

■ 金融リテラシー調査 正誤問題正答率 (2016年・2019年・2022年)

金融リテラシーマップの分野	(金融知識内訳)	設問番号	設問分野	正答率(%)		
				2022年	2019年	2016年
家計管理	-	4	適切な収支管理	51.8	55.2	55.1
		5	適切な収支管理およびクレジットカードの利用	49.6	49.5	46.9
生活設計	-	12	複利と期間についての理解	51.7	54.1	53.2
		13	人生の3大費用についての理解	46.2	47.4	47.6
金融知識	金融取引の基本	14	契約にかかる基本的な姿勢	67.3	67.7	66.2
		15	金融トラブルに巻き込まれないための適切な行動	72.0	72.9	72.4
		16	インターネット取引におけるトラブル回避方法の理解	80.6	81.5	80.2
	金融・経済の基礎	18	預金金利についての理解	68.0	68.6	65.7
		19	複利についての理解	42.5	43.6	42.9
		20	インフレーションと購買力	55.2	55.1	55.6
		21-1	インフレーションについての理解	63.3	61.9	60.8
		22	債券価格と金利の関係	23.6	23.8	24.0
		23	金利が変化した際の判断	43.4	46.0	43.9
	保険	25	保険の基本的な働きについての理解	50.0	49.3	46.7
		26	家族構成の変化に応じた保険の見直し	50.9	53.0	50.7
		28	保険についての理解	59.5	60.9	60.0
	ローン・クレジット	21-2	住宅ローンを組む際の支払金利についての理解	68.0	70.3	68.4
		30	住宅ローンについての理解	48.7	50.8	50.9
		31	複利(72の法則)についての理解	40.8	42.0	40.6
	資産形成	21-3	リスク・リターン	75.2	76.7	74.8
		21-4	資産形成における分散	50.2	47.3	45.8
33		預金保険制度の理解	38.6	40.5	42.3	
外部の知見活用	-	36	金融トラブル回避のための行動	59.8	60.4	59.6
		37	複雑な金融商品を購入する際の適切な行動	63.9	64.2	62.8
		38	金融トラブル発生時の相談窓口の理解	70.8	72.2	73.7

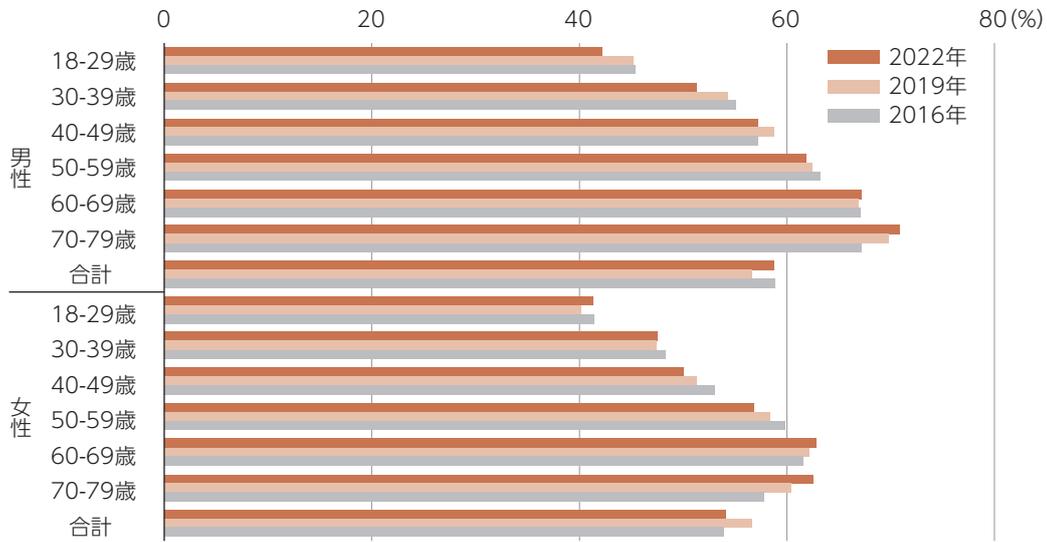
(出所) J-FLEC「金融リテラシー調査」

Ⅰ 金融リテラシー調査 正誤問題設問内容

設問内容	設問内容
<p>Q4 家計の行動に関する次の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家計簿などで、収支を管理する 2. 本当に必要か、収入はあるかなどを考えたうえで、支出をするかどうかを判断する 3. 収入のうち、一定額を天引きにするなどの方法により、貯蓄を行う 4. 支払を遅らせるため、クレジットカードの分割払を多用する 5. わからない 	<p>Q25 保険の基本的な働きに関する次の記述のうち、適切なのはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リスクの発生頻度は高いが、発生すると損失が大きい場合に有効である 2. リスクの発生頻度は低いが、発生すると損失が大きい場合に有効である 3. リスクの発生頻度は高いが、発生すると損失が小さい場合に有効である 4. リスクの発生頻度は低いが、発生すると損失が小さい場合に有効である 5. わからない
<p>Q5 家計管理やクレジットカードに関する次の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クレジットカードを自分の収入に合わせて計画的に利用する 2. クレジットカードの未決済額は、実質的には借金である 3. 手数料(金利)負担は、リボ払いよりも分割払いでは生じない 4. 利用代金を支払わないと、以降のカード使用ができなくなることがある 5. わからない 	<p>Q26 子供が独立した50歳の男性が生命保険(終身保険)を見直す場合、適切なものはどれでしょうか。他の事情に変化はないものとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 死亡保障の増額を検討する 2. 死亡保障の減額を検討する 3. 特に見直す必要はない
<p>Q12 太郎と花子は同い年です。花子は25歳の時に年10万円の預金を始め、その後も毎年10万円の預金を続けました。一方、太郎は25歳の時には預金をせず、50歳の時に年20万円の預金を始めました。二人が75歳になったとき、どちらの預金残高が多いでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 預け入れた金額は全く同じのため、二人の預金残高は同じである 2. 各年の預け入れ額が多いため、太郎の預金残高の方が多い 3. 預け入れ額が多いため、花子の預金残高の方が多い 4. 複利で利子がつく期間が長いから、花子の預金残高の方が多い 	<p>Q28 保険に関する以下の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生であっても20歳以上になると国民年金保険料を納める必要がある 2. 自動車事故を起こした場合の損害賠償は、自賠責保険により全額カバーされる 3. 生命保険は、自分や家族の変化に合わせて必要性や保障額を見直すことが望ましい 4. 医療保険では、加入前に発症した病気について補償されないことがある 5. わからない
<p>Q13 一般に「人生の3大費用」といえば、何を指すでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一生涯の生活費、子の教育費、医療費 2. 子の教育費、住宅購入費、老後の生活費 3. 住宅購入費、医療費、親の介護費 4. わからない 	<p>Q21-2 住宅ローンを組む場合、返済期間が15年の場合と30年の場合を比較すると、通常、15年の方が月々の支払い額は多くなるが、支払う金利の総額は少なくなる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい 2. 間違っている
<p>Q14 契約を行う際の対応として、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分にとって、その契約が本当に必要なかを、改めて考える 2. 解約できるかどうかや、解約時に違約金が発生するかを確認する 3. 業者から詳しく説明を聞いて契約し、契約書は後でゆっくり読む 4. 契約締結に当たり、必要に応じて、第三者にアドバイスを求める 5. わからない 	<p>Q30 住宅ローンに関する以下の記述のうち、適切なのを選択してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ローンを組んで住宅を購入するよりも、生涯賃貸住宅に住み続ける方が、圧倒的に資金負担が小さい 2. 住宅ローンの返済方法には、元利均等方式と元金均等方式があるが、総返済額はどちらも同じである 3. 住宅ローンの金利タイプには変動金利型や固定金利型があるが、固定金利型の方が変動金利型よりも常に有利である 4. 住宅ローンにかかる総返済額を減らすためには、頭金をできるだけ多く用意するとともに、可能な範囲で繰り上げ返済を行うのが有効である
<p>Q15 金融トラブルに巻き込まれないための行動として、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の個人情報はなるべく言わない 2. 金融経済に関する知識を身に付けるよう努力する 3. 判断に迷ったときは、業者を信じて一任する 4. 購入しようとする商品の評判をインターネットで確認する 5. わからない 	<p>Q31 10万円の借入れがあり、借入金利は複利で年率20%です。返済をしないと、この金利では、何年で残高は倍になるでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2年未満 2. 2年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上
<p>Q16 インターネット取引において、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セキュリティ対策ソフトを最新版にした 2. メールが届いたが、心当たりのないアドレスだったので、開かなかった 3. インターネットカフェのパソコンを使って銀行振込をした 4. 入力事項に間違いがないか、何度も確認した 5. わからない 	<p>Q21-3 平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがあるものだ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい 2. 間違っている 3. わからない
<p>Q18 100万円を年率2%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、1年後、口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないでご回答ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ()万円 2. わからない 	<p>Q21-4 1社の株を買うことは、通常、株式投資信託(*)を買うよりも安全な投資である</p> <p>*何社かの株式に投資する金融商品</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい 2. 間違っている 3. わからない
<p>Q19 では、5年後には口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないでご回答ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 110万円より多い 2. ちょうど110万円 3. 110万円より少ない 4. 上記の条件だけでは答えられない 5. わからない 	<p>Q33 預金保険制度で1千万円まで保護される預金の種類に関する次の記述のうち、適切なものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 普通預金だけが保護される 2. 普通預金と定期預金は保護される 3. 普通預金、定期預金、外貨預金など全ての種類の預金が保護される 4. 自己責任の原則から、いかなる預金も保護されない 5. わからない
<p>Q20 インフレ率が2%で、普通預金口座であなたが受け取る利息が1%なら、1年後にこの口座のお金を使ってどれくらいの物を購入することができますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今日以上に物を買う 2. 今日と全く同じだけ物を買う 3. 今日以下しか物を買えない 4. わからない 	<p>Q36 聞いたことがない金融商品を購入するかどうかを判断する際の行動や考え方として、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トラブルが多発し、公的機関から注意喚起がなされていないか、情報を収集する 2. インターネットや書籍、複数の販売業者から情報を収集し、他の商品と比較する 3. 中立的な立場から情報提供を行っている機関等に相談し、アドバイスを受ける 4. 販売業者から高いリターンが期待できるとの情報が得られれば、商品を購入する
<p>Q21-1 高インフレの時には、生活に使うものやサービスの値段全般が急速に上昇する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい 2. 間違っている 3. わからない 	<p>Q37 複雑な仕組みの金融商品の購入を検討するにあたって、適切な対応はどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仕組みがよくわからなくても、売れ行きが良ければ購入する 2. 仕組みがよくわからなくても、提供している金融機関が信用できれば購入する 3. 仕組みがよくわからなくても、高いリターンが期待できれば購入する 4. 仕組みを理解できて問題ないと思えば購入する 5. わからない
<p>Q22 金利が上がったら、通常、債券価格はどうなるでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上がる 2. 下がる 3. 変化しない 4. 債券価格と金利の間には何の関係もない 5. わからない 	<p>Q38 金融商品の契約についてトラブルが発生した際に利用する相談窓口や制度として、適切でないものはどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 消費生活センター 2. 金融ADR制度 3. 格付会社 4. 弁護士
<p>Q23 金利が上がっていくときに、資金の運用(預金等)、借入れについて適切な対応はどれでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運用は固定金利、借入れは固定金利にする 2. 運用は固定金利、借入れは変動金利にする 3. 運用は変動金利、借入れは固定金利にする 4. 運用は変動金利、借入れは変動金利にする 5. わからない 	

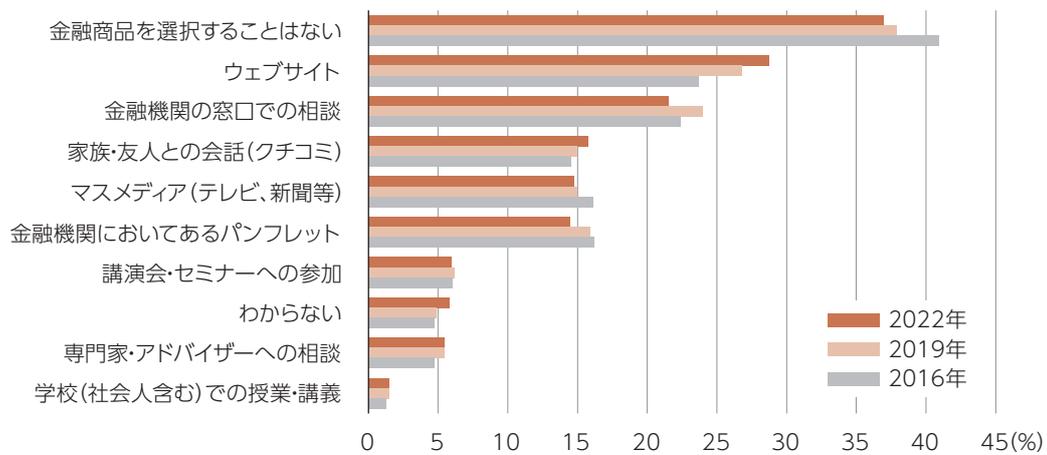
(出所)J-FLEC「金融リテラシー調査」

■ 金融リテラシー調査 正誤問題の年齢層別正答率 (2016年、2019年、2022年)



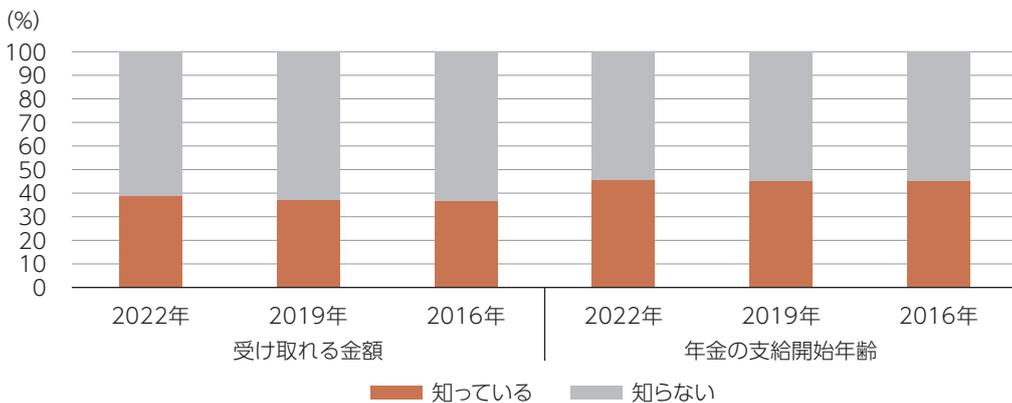
(出所)J-FLEC「金融リテラシー調査」

■ 金融リテラシー調査 金融商品選択時の情報源 (2016年、2019年、2022年)



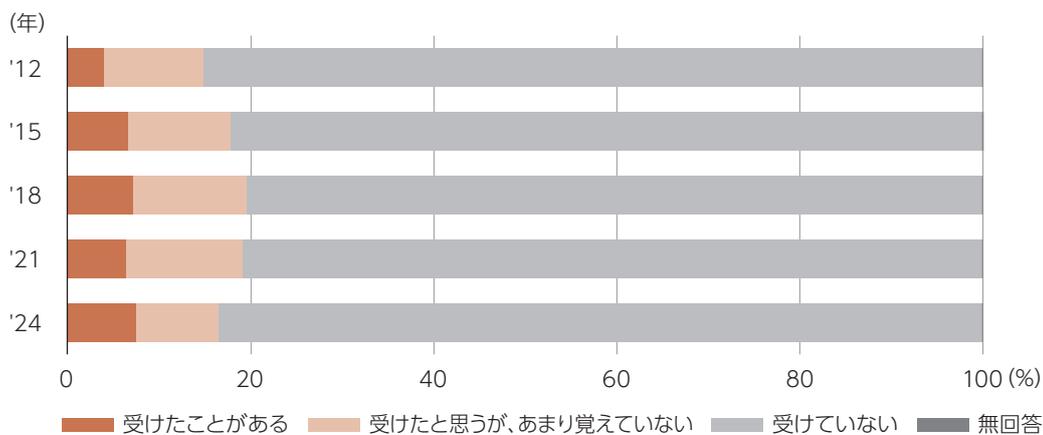
(出所)J-FLEC「金融リテラシー調査」

■ 金融リテラシー調査 自分の年金についての理解 (2016年、2019年、2022年)



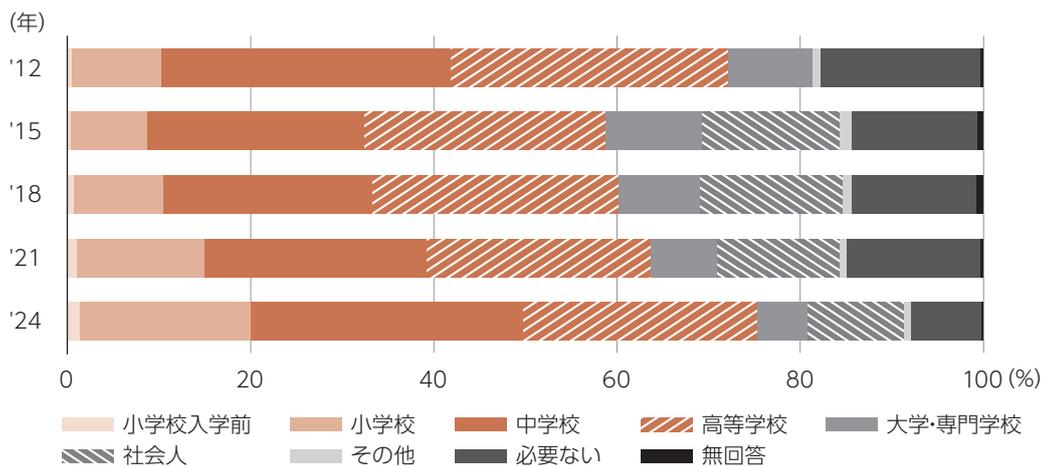
(出所)J-FLEC「金融リテラシー調査」

■ 学校、職場、家庭などで証券投資に関する教育を受けたことがあるか？（2012年～2024年(3年毎)）



(出所) 日本証券業協会「証券投資に関する全国調査」

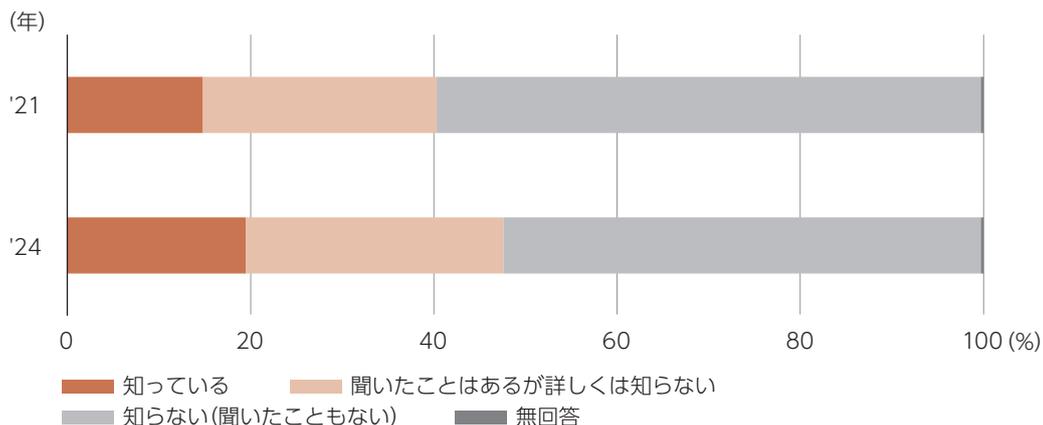
■ 金融の基礎知識や経済の仕組みについて、いつ頃から学び始めるべきか？（2012年～2024年(3年毎)）



*社会人は2015年から

(出所) 日本証券業協会「証券投資に関する全国調査」

■ 証券投資をする場合、長期投資・積立投資・分散投資が、リスクを減らすために有効な方法であることを知っているか？（2021年、2024年）



(出所) 日本証券業協会「証券投資に関する全国調査」

金融リテラシーの国際比較

(%)

	合計	知識						行動					
		金利	複利	リスクとリターン	インフレ	分散投資	支払期限の遵守	お金への注意	余裕の確認	長期計画の策定			
1	香港(中国)	79.1	86.9	95.9	71.1	93.3	94.3	79.7	69.5	83.9	74.9	63.2	55.8
2	オーストリア	73.0	73.9	78.6	49.0	91.7	88.9	61.3	71.8	84.5	83.2	66.4	53.1
3	スロベニア	69.8	64.7	60.5	39.3	71.7	80.5	71.3	76.2	90.4	84.1	72.9	57.5
4	ロシア	68.4	64.8	74.2	35.0	77.1	68.4	69.4	72.8	81.0	75.9	80.4	54.0
5	エストニア	67.4	65.7	66.4	36.7	77.5	86.1	61.7	69.5	95.1	73.2	69.9	39.7
6	タイ	66.2	52.0	71.4	29.1	59.2	53.2	47.3	84.0	82.3	86.3	94.8	72.4
7	ポーランド	65.3	69.8	71.2	36.5	86.7	83.0	71.4	59.6	77.9	59.4	57.7	43.5
8	日本	62.5	59.1	68.0	38.8	75.2	63.3	50.2	66.7	85.0	58.6	72.6	50.4
9	ドイツ	62.4	67.8	62.6	40.0	80.2	85.2	70.8	55.6	50.4	53.9	66.0	52.1
10	ジョージア	62.3	57.6	43.5	23.6	79.3	87.4	54.2	68.1	90.0	71.4	70.6	40.4
11	マレーシア	61.8	54.8	42.9	24.8	77.6	76.5	52.1	70.6	67.4	71.5	77.5	66.0
12	ポルトガル	61.7	50.8	42.6	19.8	72.0	74.7	45.1	75.4	89.1	79.4	84.1	48.8
13	ブルガリア	61.7	56.7	52.7	30.3	76.5	78.6	45.4	67.9	83.3	75.0	74.0	39.4
14	モルドヴァ	60.9	51.0	43.5	14.2	74.4	68.2	54.6	73.4	91.0	65.0	85.5	52.0
15	クロアチア	60.7	60.8	63.7	24.4	74.7	76.4	65.0	60.5	73.0	63.5	67.6	37.9
16	ペルー	60.0	51.6	21.5	6.3	82.6	85.7	62.0	70.5	80.5	61.8	78.8	60.8
17	ハンガリー	59.0	60.3	55.9	18.3	81.2	84.7	61.6	57.4	81.5	46.6	66.3	35.2
18	チェコ	58.7	59.7	50.4	21.0	78.1	80.2	69.0	57.3	80.7	64.1	51.6	32.8
19	コロンビア	58.5	48.2	10.7	1.8	84.3	86.9	57.3	71.5	77.8	63.7	81.6	62.8
20	インドネシア	58.1	51.3	47.7	12.2	75.3	76.0	45.1	66.6	68.4	67.2	60.4	70.5
21	韓国	57.4	62.0	62.6	25.9	79.9	76.9	64.7	51.6	71.6	47.2	47.0	40.4
22	北マケドニア	57.1	51.8	44.8	12.3	68.6	78.2	55.1	63.8	74.6	71.1	74.4	34.9
23	モンテネグロ	55.6	52.4	65.8	13.9	75.9	70.4	35.9	59.6	69.8	59.0	74.5	35.2
24	イタリア	53.3	52.7	59.4	23.1	64.7	65.1	51.3	54.1	66.7	54.5	67.5	27.8
25	ルーマニア	53.2	46.4	41.3	14.3	64.9	65.2	46.2	61.7	78.4	64.4	64.8	39.2

*知識の列には正答率、行動の列には望ましい行動の割合を記載
(出所)J-FLEC「金融リテラシー調査」

米国との金融リテラシー比較

(%)

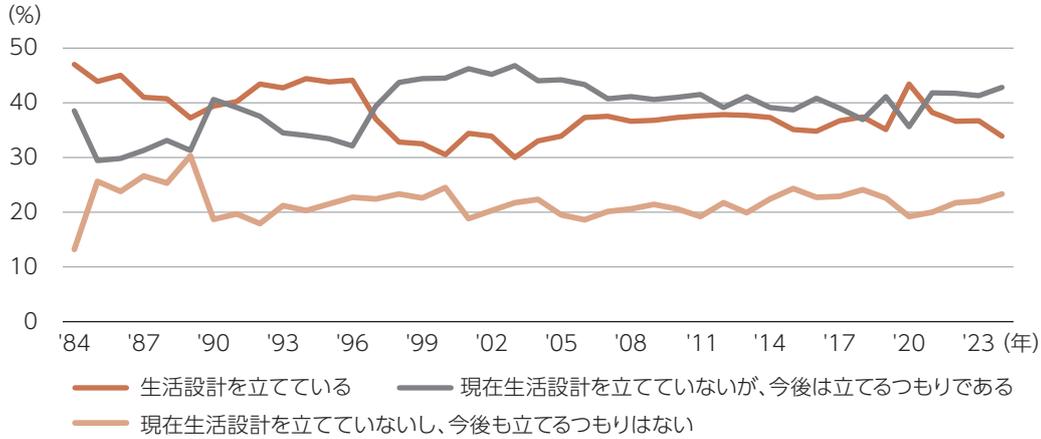
	日本(2022年)	米国(2018年)
正誤問題6問の正答率	47	50
複利	43	72
インフレ	55	55
住宅ローン	68	73
分散投資	50	43
債券価格	24	26
72の法則	41	30
金融知識に自信がある人の割合	12	71

(出所)J-FLEC「金融リテラシー調査」

第2節 投資家意識調査

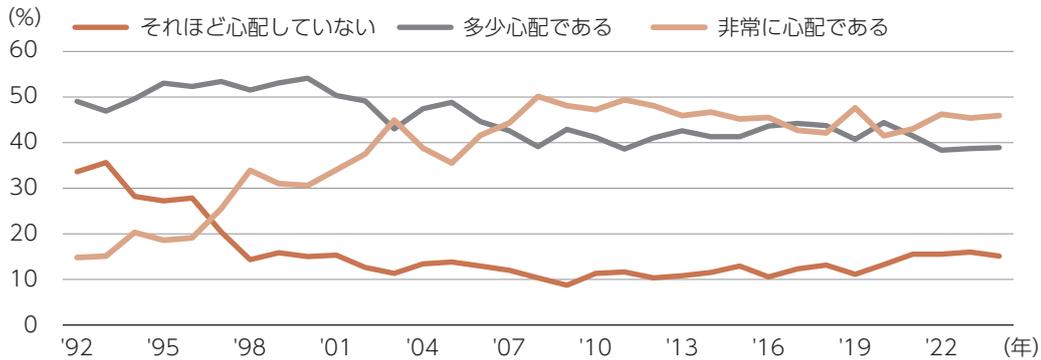
J-FLEC、日本証券業協会、投資信託協会による投資家意識調査

生活設計の策定有無の推移 (1984年～2024年)



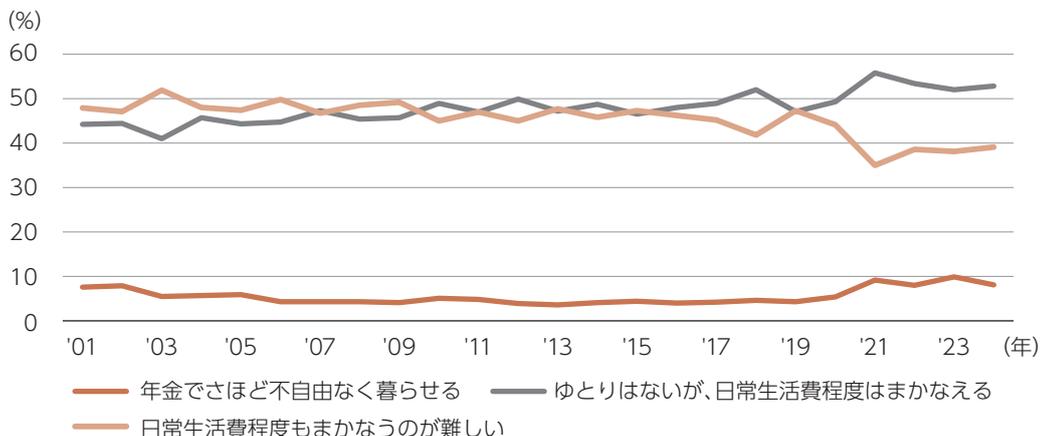
*03年と04年の間、06年と07年の間、19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

老後の生活についての考え方の推移(世帯主の年齢が60歳未満の世帯) (1992年～2024年)



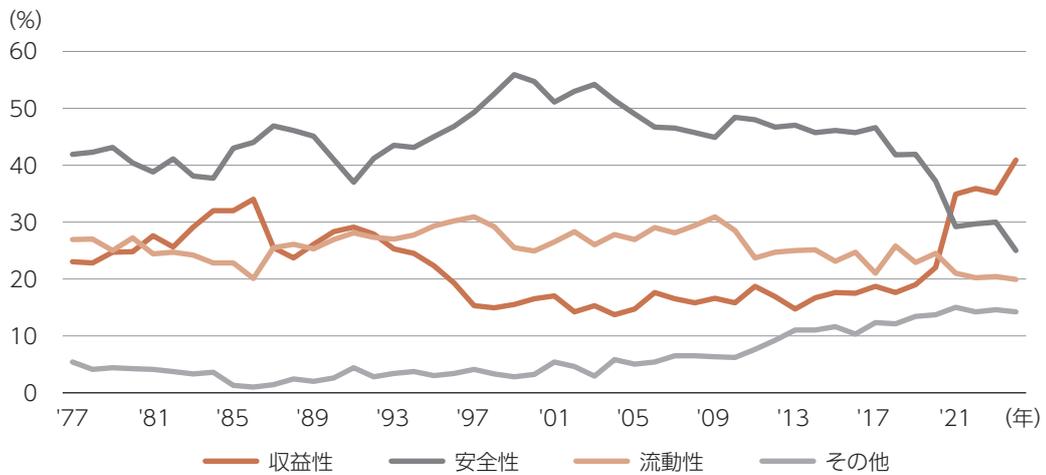
*03年と04年の間、06年と07年の間、19年、20年、21年の間においてはデータが不連続。「それほど心配していない」は、1996年までは「全く心配していない」との合算値
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

年金に対する考え方の推移 (2001年～2024年)



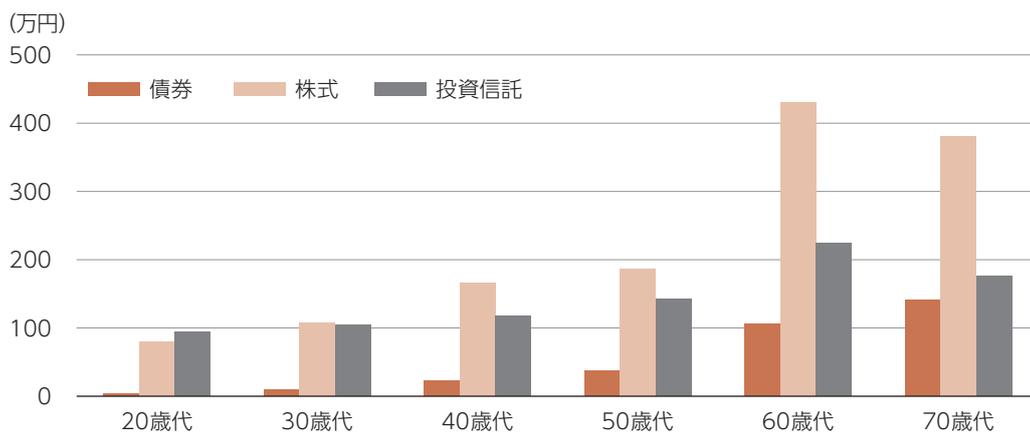
*03年と04年の間、06年と07年の間、19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

金融商品の選択基準の推移(金融資産保有世帯) (1977年～2024年)



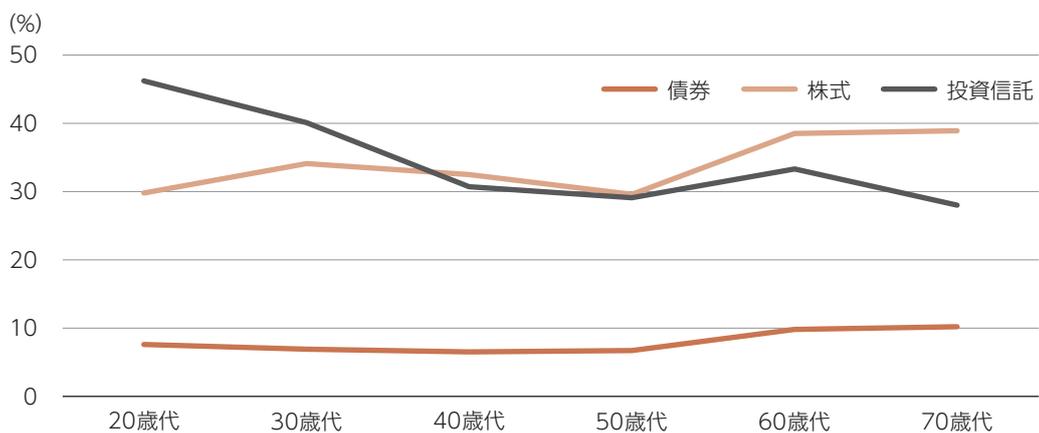
*03年と04年の間、06年と07年の間、19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
 (出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

年齢別に見た債券、株式、投資信託保有額 (2024年)



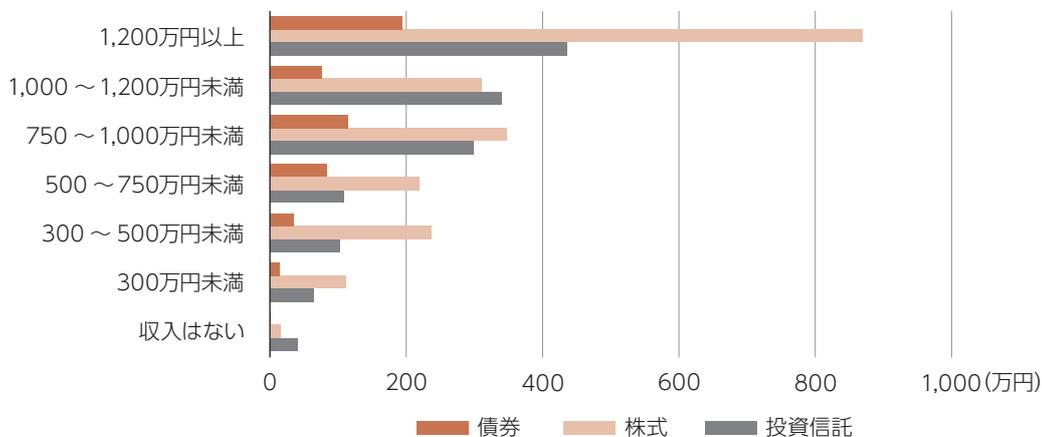
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

年齢別に見た各金融資産を保有している世帯の割合 (2024年)



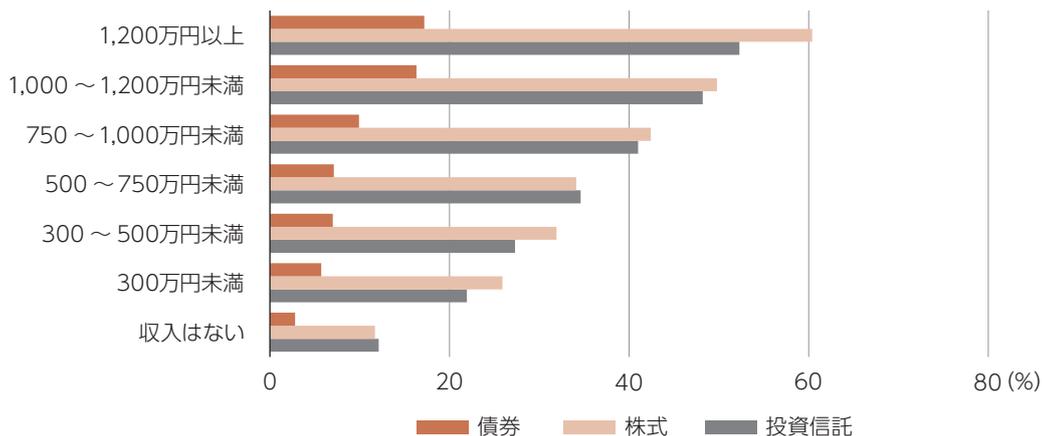
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■ 年収別に見た債券、株式、投資信託保有額 (2024年)



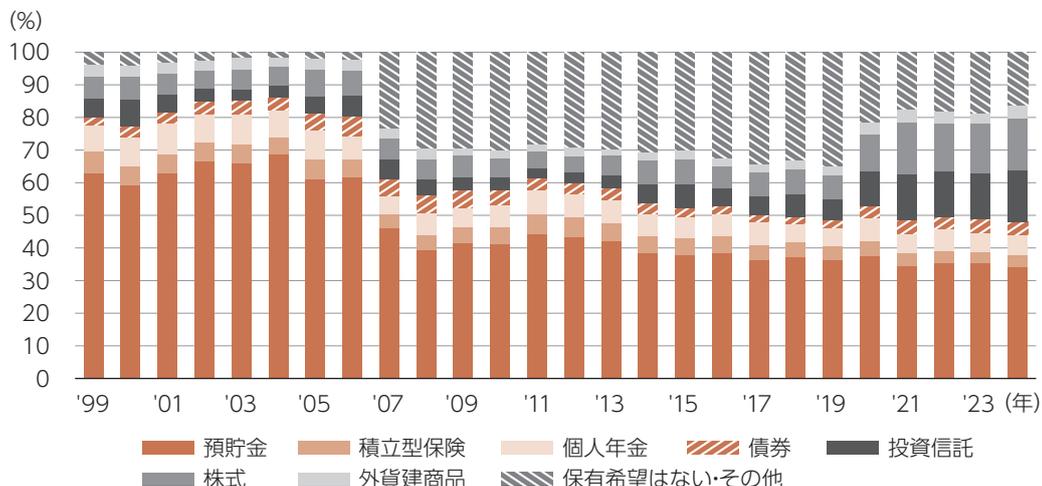
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■ 年収別に見た各金融商品を保有している世帯の割合 (2024年)



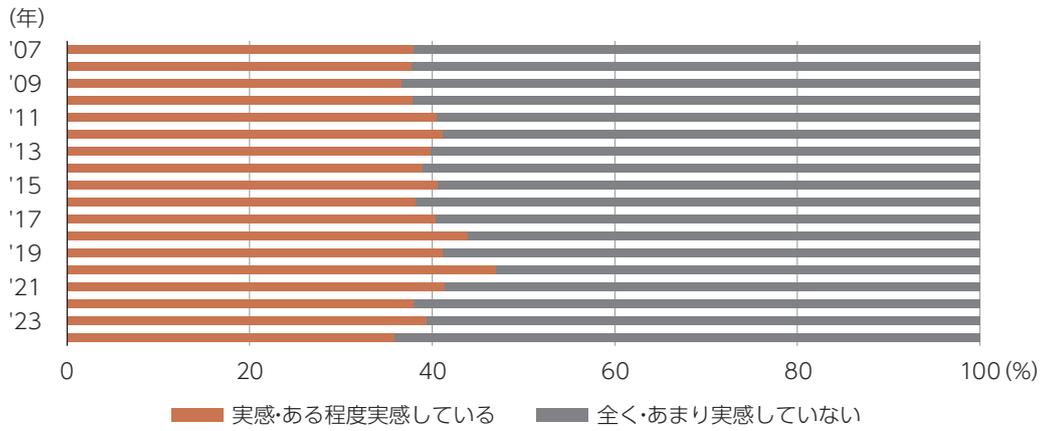
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■ 今後の金融商品の保有希望 (1999年～2024年)



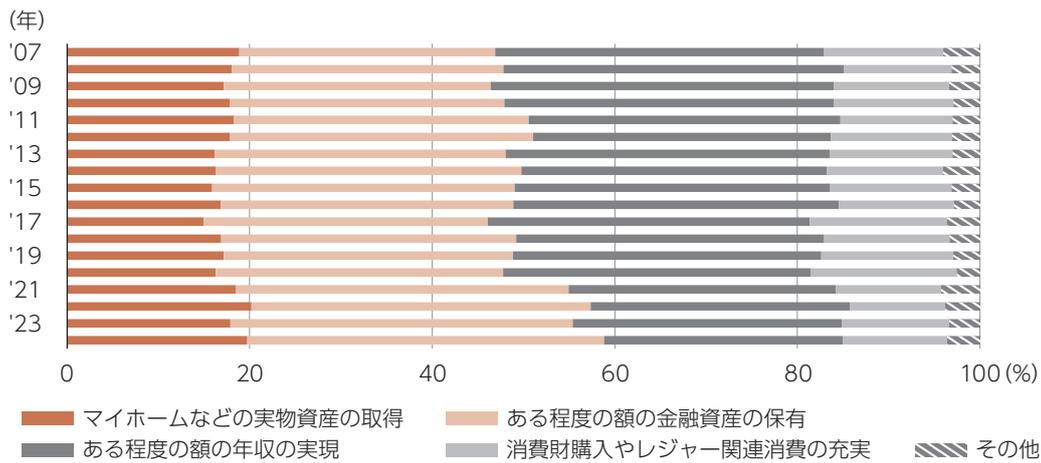
*03年と04年の間、06年と07年の間、19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■ 経済的な豊かさの実感 (2007年～2024年)



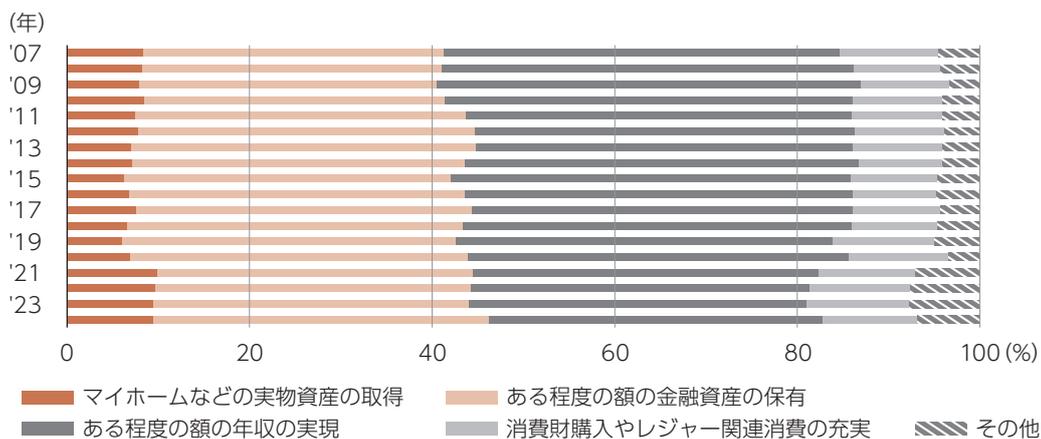
*19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■ 経済的な豊かさを実感する条件(経済的な豊かさを実感している世帯) (2007年～2024年)



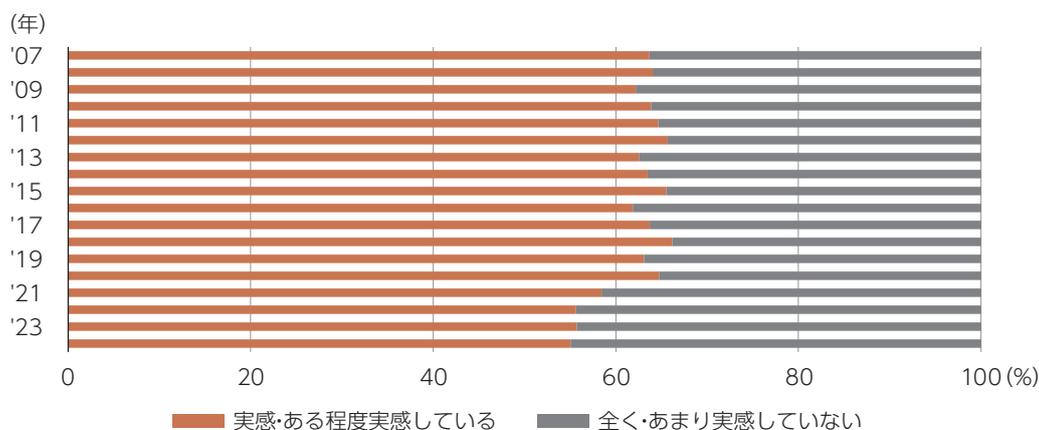
*複数回答を合計100%に調整。19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■ 経済的な豊かさを実感する条件(経済的な豊かさを実感していない世帯) (2007年～2024年)



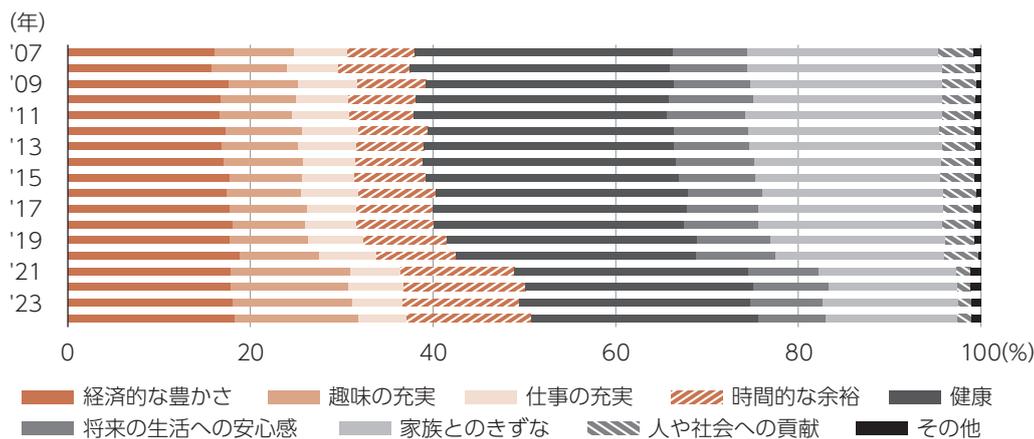
*複数回答を合計100%に調整。19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所) J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■心の豊かさの実感 (2007年～2024年)



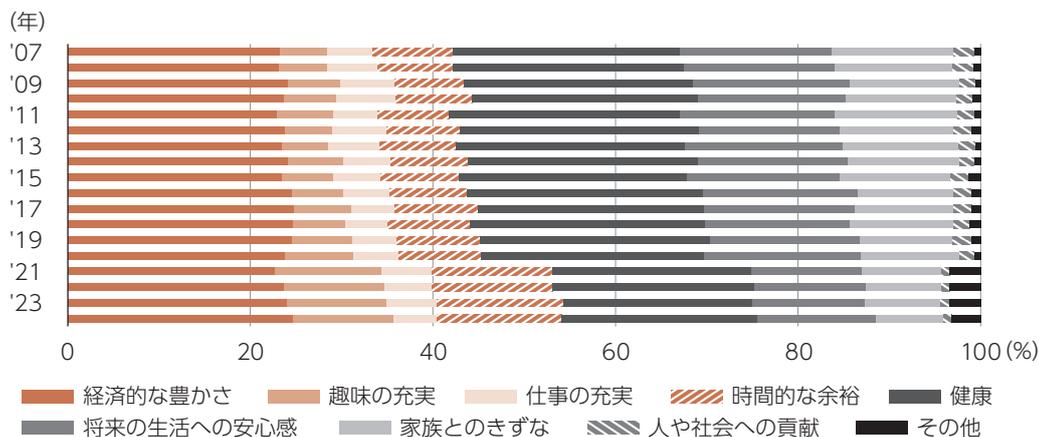
*19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所)J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■心の豊かさを実感する条件(心の豊かさを実感している世帯) (2007年～2024年)



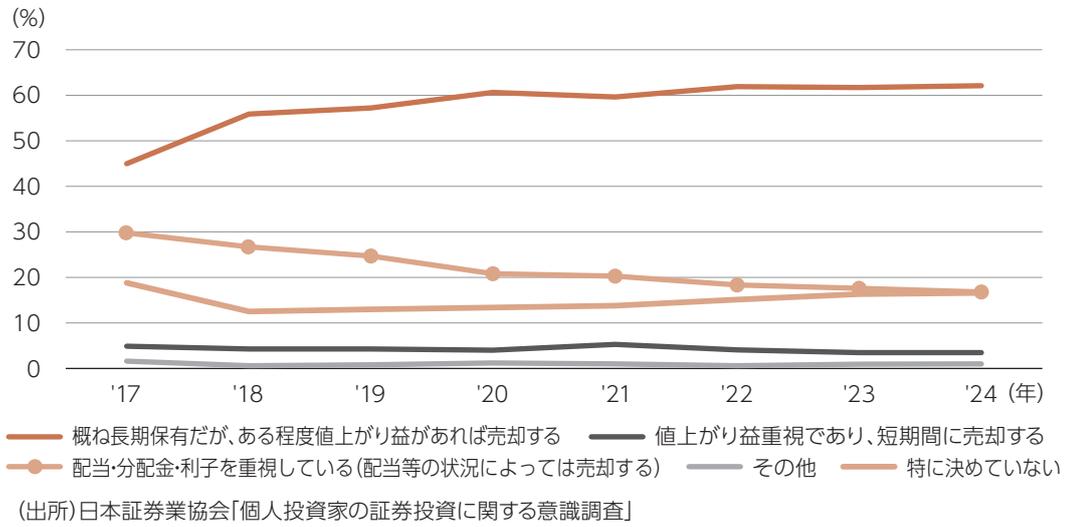
*複数回答を合計100%に調整。19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所)J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

■心の豊かさを実感する条件(心の豊かさを実感していない世帯) (2007年～2024年)

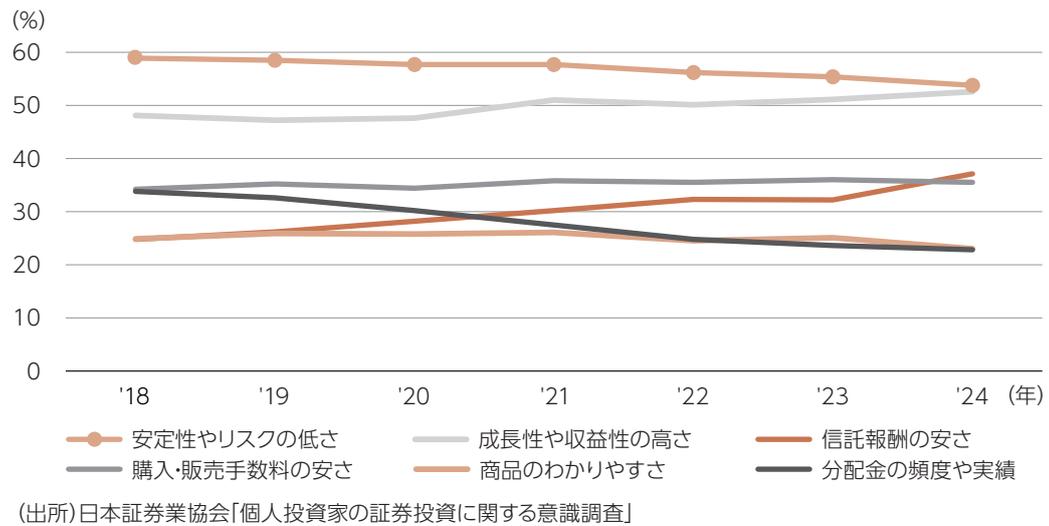


*複数回答を合計100%に調整。19年、20年、21年の間においてはデータが不連続
(出所)J-FLEC「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯)」

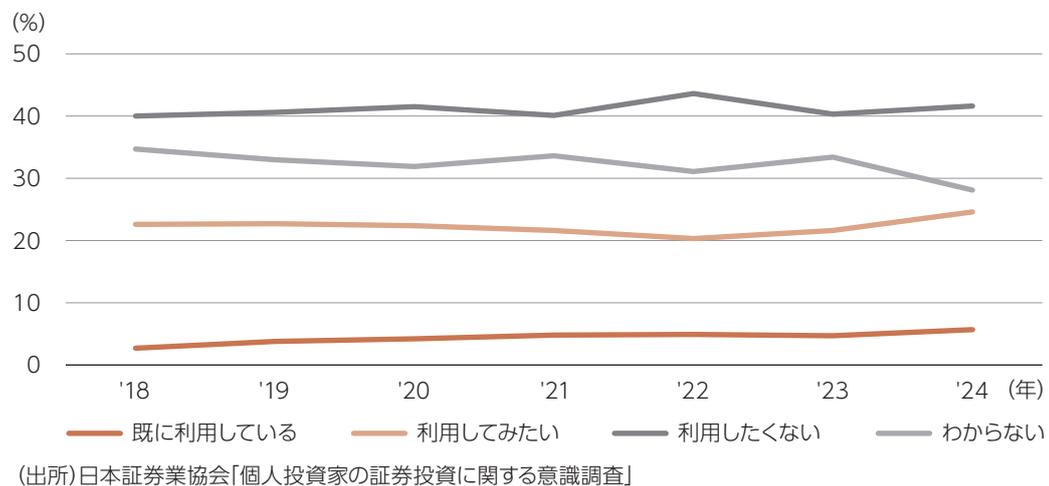
■ 投資信託の投資方針の推移(投資信託保有者) (2017年～2024年)



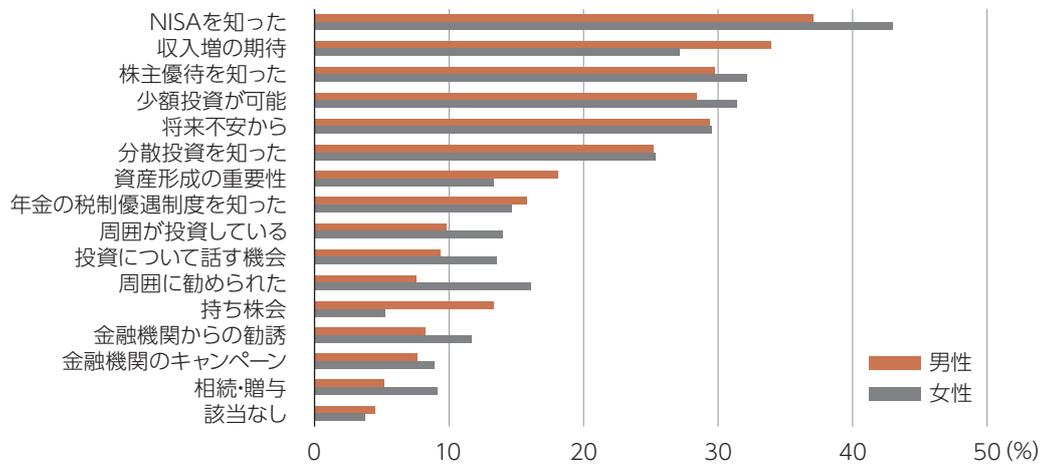
■ 投資信託購入時の重視点の推移(投資信託保有者) (2018年～2024年)



■ ロボアドバイザーの利用状況の推移 (2018年～2024年)

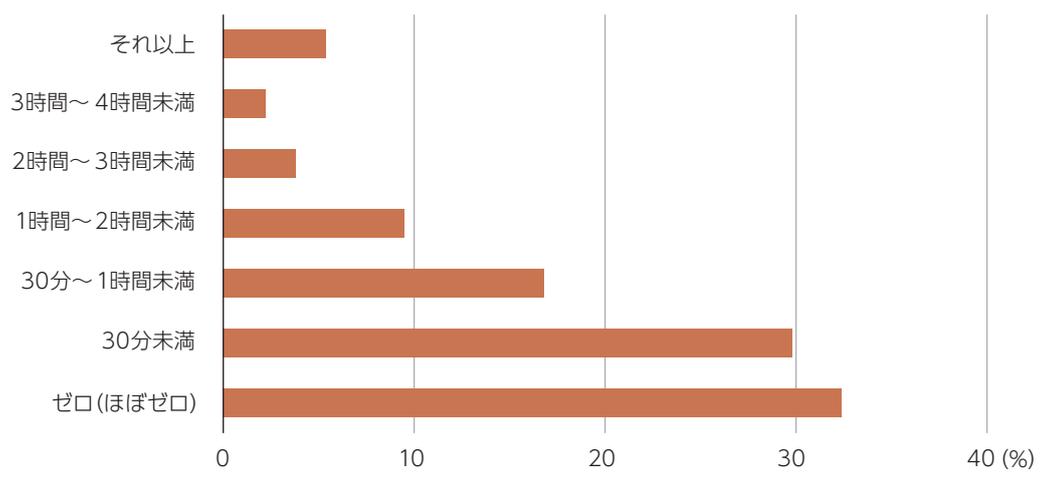


有価証券に興味・関心を持ったきっかけ(性別) (2024年)



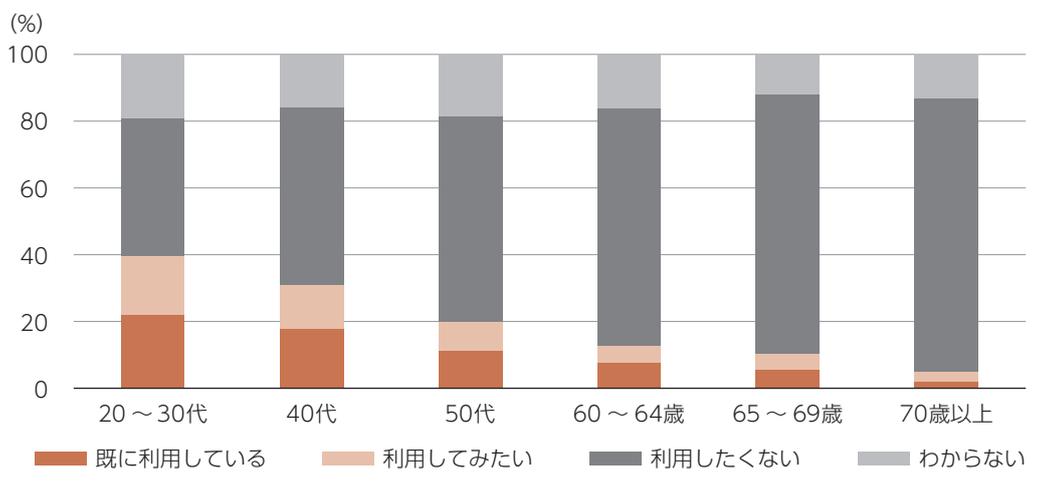
(出所)日本証券業協会「個人投資家の証券投資に関する意識調査」

投資にかけている1週間当たりの平均時間 (2024年)



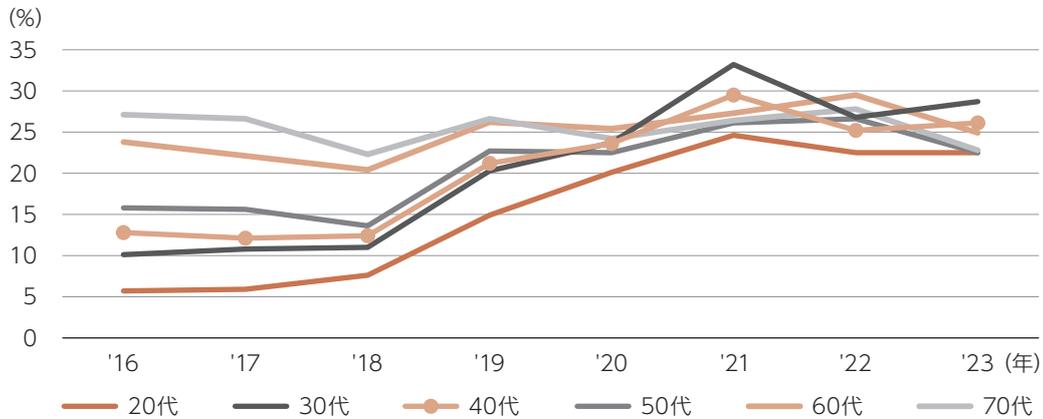
(出所)日本証券業協会「個人投資家の証券投資に関する意識調査」

暗号資産(仮想通貨)の利用状況 (2024年)



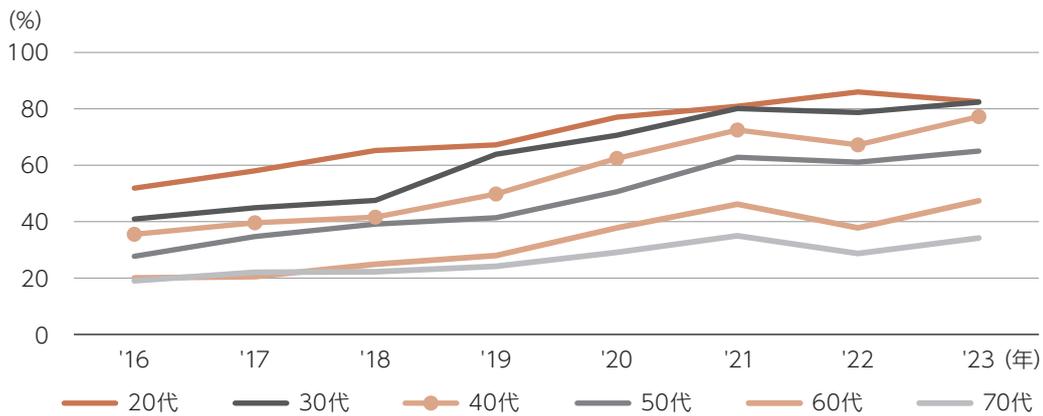
(出所)日本証券業協会「個人投資家の証券投資に関する意識調査」

■ 投資信託を保有している割合の推移 (2016年～2023年)



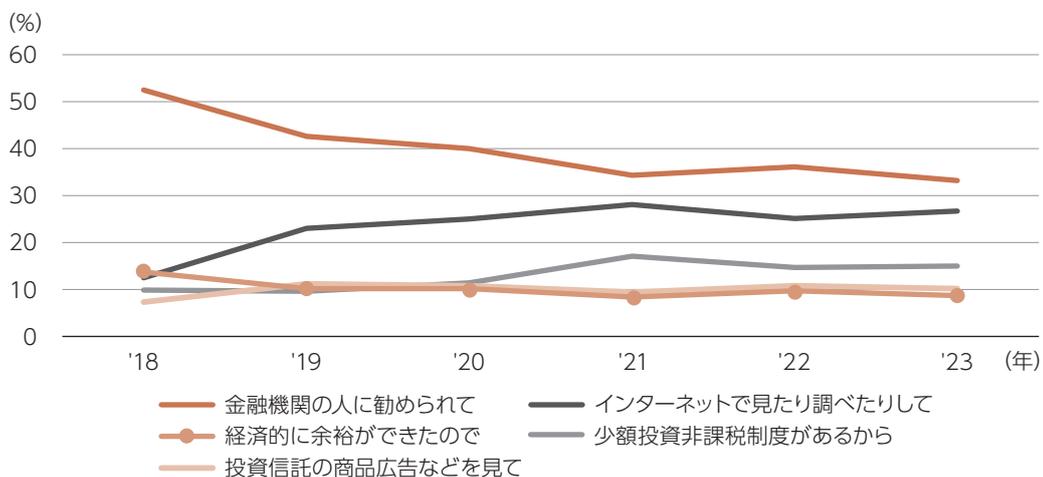
*18年と19年の間においてはデータが不連続
 (出所)投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書(全般編)」

■ 投資信託の積立投資を利用している割合の推移 (2016年～2023年)



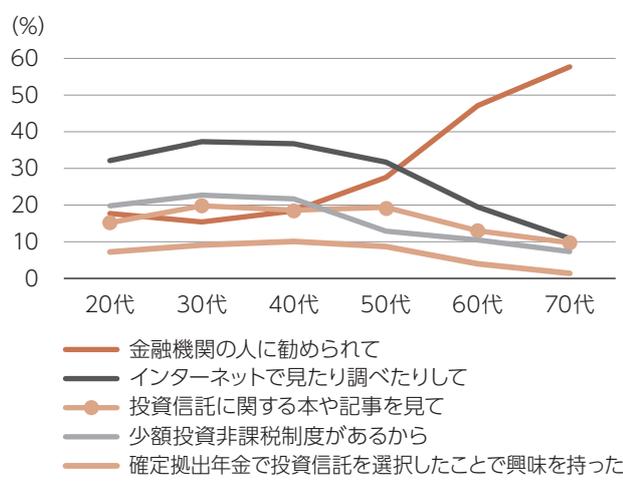
*18年と19年の間においてはデータが不連続
 (出所)投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書(全般編)」

■ 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ (2018年～2023年)

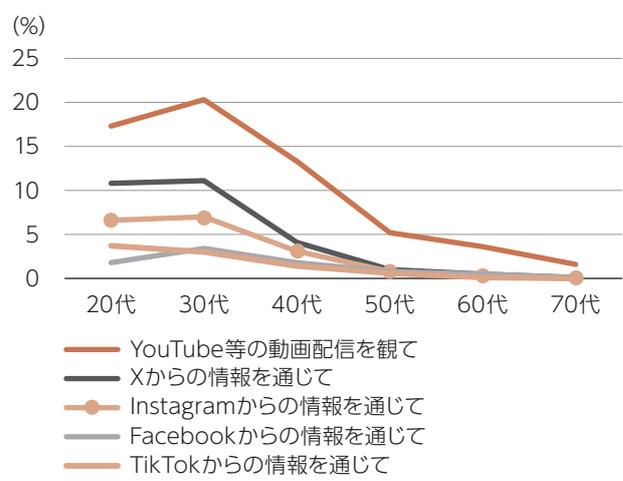


*18年と19年の間においてはデータが不連続
 (出所)投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書(全般編)」

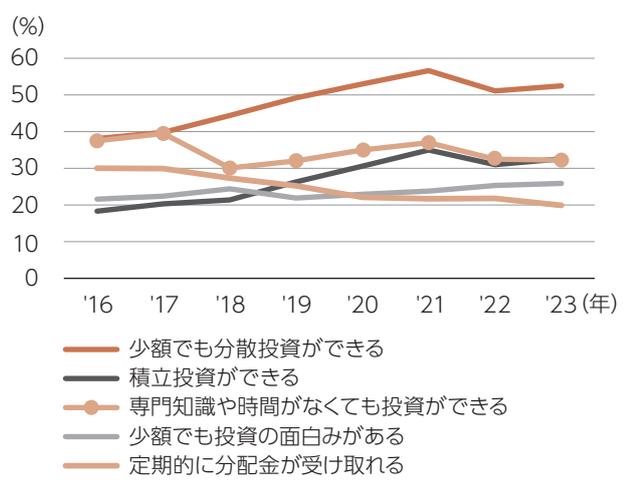
投資信託の興味・関心・購入のきっかけ (2023年)



(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書(全般編)」

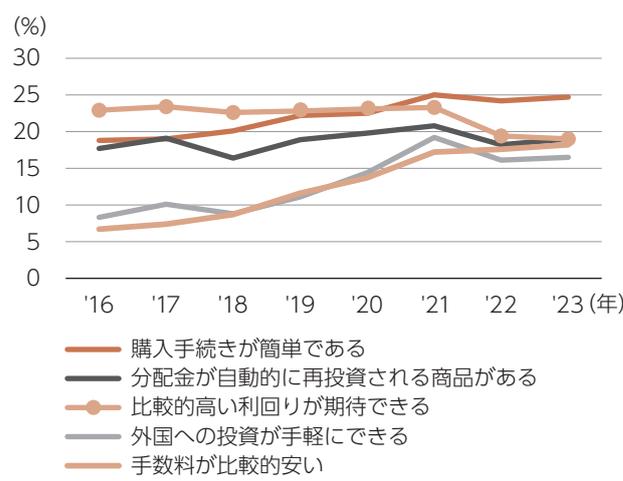


投資信託の優れていると感じる点の推移 (2016年～2023年)

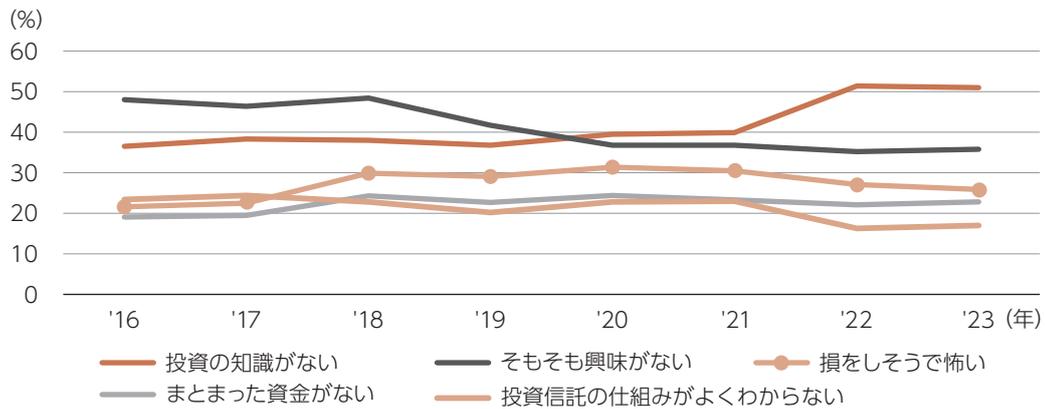


*18年と19年の間においてはデータが不連続

(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書(全般編)」



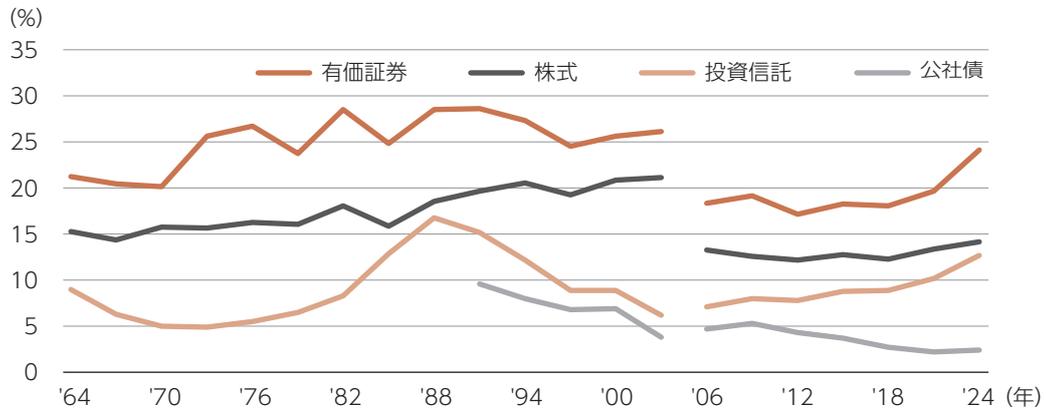
投資信託の非購入理由の推移 (2016年～2023年)



*18年と19年の間においてはデータが不連続

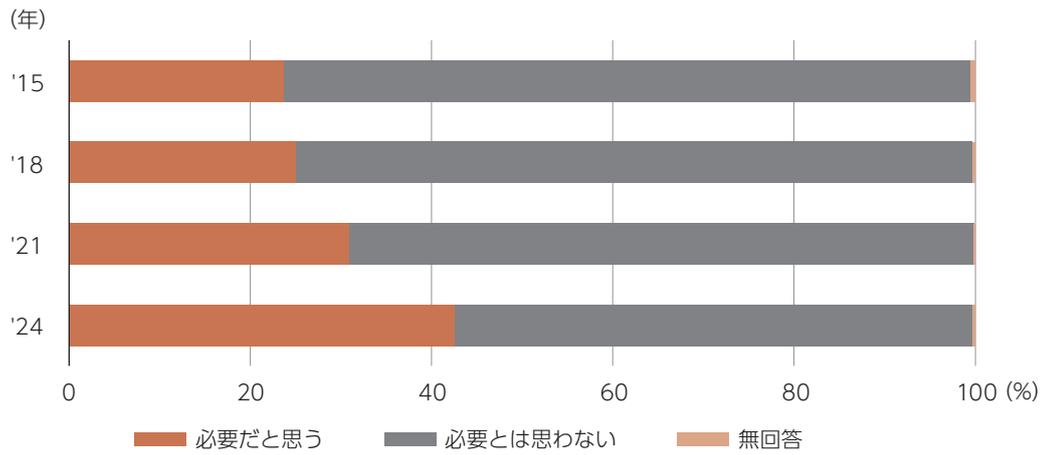
(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書(全般編)」

有価証券の保有比率 (1964年～2024年(3年毎))



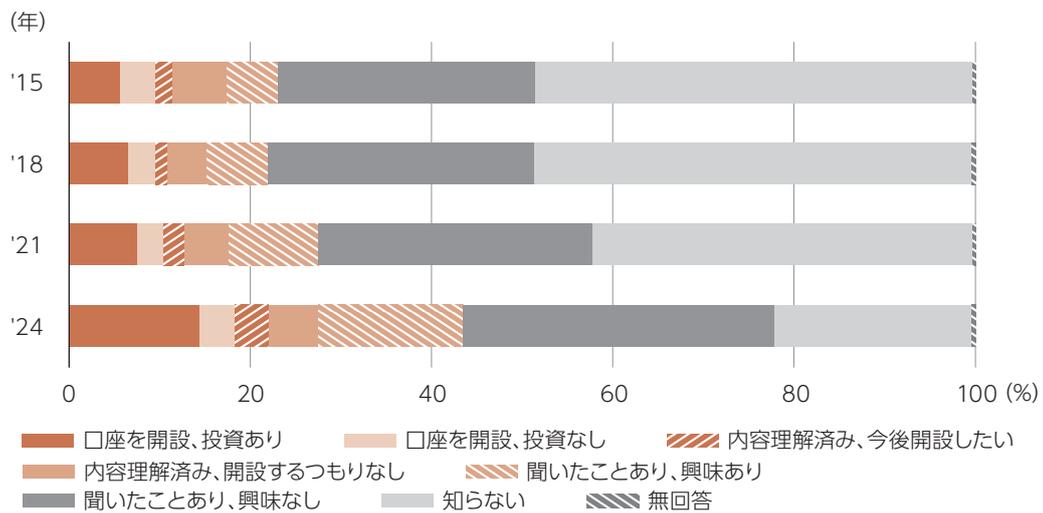
*公社債は1991年から。2003年までは世帯、2006年から個人の保有比率
(出所) 日本証券業協会「証券貯蓄に関する全国調査」、「証券投資に関する全国調査」

資産を増やすために証券投資が必要か? (2015年～2024年(3年毎))



(出所) 日本証券業協会「証券投資に関する全国調査」

NISAについて知っているか? (2015年～2024年(3年毎))



(出所) 日本証券業協会「証券投資に関する全国調査」